

# 第41回 越馬徳治科学賞

～平成15年度受賞者・受賞校の業績～

平成15年度の越馬徳治科学賞の表彰式・助成金交付式は、平成16年2月13日（金）に石川県教育センターで、山岸勇相談役、中村健一副会長のご出席をいただき、業界や学校関係者参列のもと開催されました。受賞者、受賞校に、賞状・助成金ならびに記念品などが授与されました。（本文中の勤務校や所属は平成15年度のものです。）

## 1. 個人表彰

### ○ 個人賞

**石川県立金沢二水高等学校教諭 谷口豊**  
金沢市立兼六中学校を初任に、金沢市立工業高等学校、県立津幡高等学校を経て現在に至る。化学部を指導し、河川の水質調査を継続的に研究した。その成果は、全国高等学校総合文化祭をはじめ数々の研究発表会で報告され、高い評価をうけている。また、「青少年のための科学の祭典」の講師、県高等学校教育研究会理化部会理事等を歴任するなど科学教育の推進に貢献している。

**石川県立大聖寺高等学校教諭 西口靖彦**  
県立津幡高等学校を初任に、同小松明峰高等学校、同寺井高等学校を経て現在に至る。アゲハ、シダムシ（ヒトテ類の寄生虫）、ボルネオ島の霊長類など、動物学に関する多数の研究があり、日本生物教育会全国大会をはじめ、数多くの発表を行ってきた。特にシダムシの研究は世界的にも稀であり、今後の成果が期待されている。また、「いしかわ高校生物のつどい」での講師、県高等学校教育研究会生物部会におけるAV教材開発、環境教育、海外研修等のグループリーダーなど多岐にわたり貢献している。

**津幡町立津幡南中学校教諭 末吉英一**  
津幡町立太白台小学校を初任に、宇ノ気町立宇ノ気中学校、津幡町立津幡中学校などを経て現在に至る。多くの教育実践の実績があり、「太白台の森」の研究等で数々の賞を受賞した。また、宇ノ気中学校では「生徒指導の機能を生かした理科教育」をテーマに授業・研究発表を行った。内灘中学校科学部を指導し、20年間におよぶ河北潟の水質調査をまとめ、環境省環

境管理局水環境部長表彰の原動力となった。また湖潟研究会に参加、自然観察会や講演会を実施、自然観察を通して環境教育を推進している。

### 金沢市立西南部中学校教諭 嶋耕二

金沢大学教育学部附属中学校を初任に、金沢市立北鳴中学校を経て現在に至る。金沢大学教育学部附属教育実践研究指導センター研究員、日本理科教育学会会員、県教育工学研究会組織担当事務局次長等を務める。理科に関する数多くの研究業績をあげ、理科教育学会や教育工学研究会、理科に関する雑誌などで成果を発表した。また、宇宙少年団分団リーダー、金沢市中文連理科研究発表会への発表指導などにも携わり、科学教育の振興や後進の育成に貢献している。

### 金沢市立泉野小学校教諭 中村典広

金沢市立森本小学校を初任に、同西小学校、同十一屋小学校、同中央小学校等を経て現在に至る。常に子どもの目線に立った理科学習を実践し、県および市の委託研究、越馬徳治科学教育研究奨励、県理科教育研究大会等で、その成果を発表した。また、教員対象の理科実技研修の講師をはじめ、科学教室や科学クラブの指導員として児童に携わり、県発明工夫展では学校賞受賞に導く等、科学教育の推進に貢献している。

### 金沢市立粟崎小学校教諭 奥村豊美

金沢市立十一屋小学校を初任に、同長田町小学校、同明成小学校を経て現在に至る。理科の授業づくりについて、主に高学年を中心とした事例研究を継続的に続け、越馬徳治科学教育研究奨励や日本理科教育学会で発表、各種雑誌・書籍等にも多数投稿している。また、児童の科学作品の指導、学習帳やカリキュラムの作成等にも精力的に取り組み、理科実技研修の講師も務めている。

### ○ 功労賞

### 加賀市立湖北小学校教頭 山本芳夫

加賀市立作見小学校を初任に、小松地方教育事務所（現小松教育事務所）指導主事、加賀市立山代小学校教頭を経て現在に至る。その間、主に生物に関する研究に取り組み、県奨励研究や越馬徳治科学教育研究奨

励にも応募した。県ナチュラリストバンク（現いしかわ自然学校）講師として、長年県内の理科指導に務め、鴨池観察館友の会を設立、自然教育行事の支援も行っている。県理科教育研究協議会加賀市教育振興会小学校理科研究部部長、県科学教育振興会理事を歴任している。

石川県立小松工業高等学校教諭 安津 謙 二  
県立門前高等学校を初任に、同小松北高等学校、同小松商業高等学校等を経て現在に至る。理科同好会による酸性雨や大気中の窒素酸化物の調査を指導、成果をインターネット上で公開し合同発表を行うなど、情報通信ネットワークを活用した理科教育に優れた業績を修めた。また、北信越理化学協会理事等を歴任し、平成14年度には北信越理科教育研究会石川大会事務局長をつとめるなど、県内外にわたって活躍している。

## 2. 学校表彰

金沢市立泉中学校 （校長 野崎 義孝）

当該校は評価を生かし個に応じた指導を実践し、実験観察コーナーの設置などの環境教育に取り組んでおり、平成14、15年度に高峰賞学校賞を受賞している。科学部の活動も活発で、多くの優秀な研究を行っている。研究テーマも岩石の調査、星の観察、学校園での

ケナフ栽培など多岐にわたり、金沢市科学作品展でも優秀な成績をおさめている。また、夏休みサイエンス教室や金沢市中学生夢空間の運営補助など校外の理科活動にも貢献している。

金沢市立諸江町小学校 （校長 戸田 教一）

当該校は、理科好きな子どもたちの育成をめざし、開発的な授業実践のみならず、ダイナミックな取り組みを行ってきた。子どもたちの意見をとり入れた「ピオトープ」の制作、実感のある学習のための「どろんこ広場」の整備、子どもたちの力による地域の環境調査、育友会主催の天体観測会、夏休み科学研究相談教室等の行事を企画し、理科教育に関する成果を上げている。また、児童・生徒科学作品コンクールにおいても、毎年優秀な作品を多数出品している。

## 3. 学校助成

小・中・高等学校をつなぐ理科教育を積極的に推進している学校への助成金交付。米年度の「小・中・高等学校をつなぐ県理科教育研究大会」開催校に交付する。

石川県立大聖寺高等学校 （校長 上田 政憲）  
加賀市立錦城中学校 （校長 山下 誠一）  
加賀市立庄小学校 （校長 宮川 博和）

